

第3章 尾道市環境基本計画

第1節 第1次尾道市環境基本計画

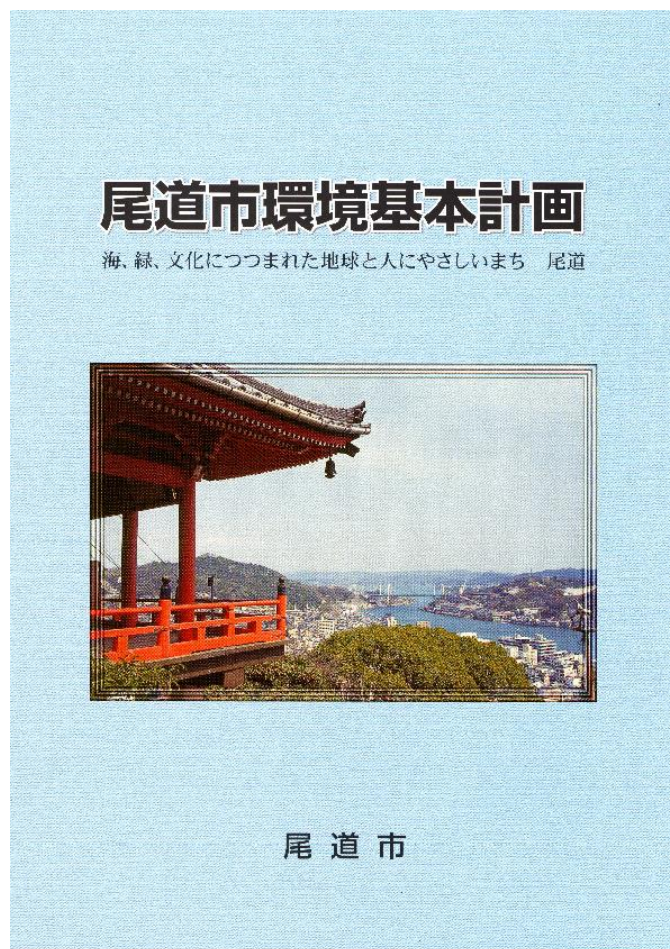
1. 概要

尾道市では、平成19年7月に「海、緑、文化にまつまれた地球と人にやさしいまち 尾道」を望ましい環境像として位置づけた尾道市環境基本計画を策定しました。

平成28年度までの10年間において、住宅用太陽光発電システムへの補助事業や尾道市のISO14001取得等の取り組みを進め、一定の成果を上げてきましたが、社会情勢の変化等により課題も残っています。

この第1次基本計画の期間終了を受け、必要な見直しを行い、今後の課題に対応していくため第2次尾道市環境基本計画を平成29年3月に策定いたしました。

なお、12, 13 ページに第1次基本計画の成果目標等を一覧にしたものを載せておりますので、あわせてご確認ください。



2. 課題と評価

尾道市内の主な河川は、延長が短く、流量も少ないことから、生活排水等の影響を受けやすいものの、水質は10年前と比較して改善しています。これは住民意識の高まりとともに小型合併浄化槽の設置が広がってきたことがあげられます。大気は、光化学オキシダントは環境基準を超過していますが、国外からの影響と受け止めています。二酸化窒素濃度や浮遊粒子物質濃度などの値は、環境基準をほぼ達成できている状況です。

ゴミの減量化やリサイクルについては、再資源化率が低下していますが、再資源化の大きなウェイトを占める紙類が減少していることと、高齢者が資源物の分別や排出作業が困難になっていることも要因かとみております。

環境学習等では、長年続く水生生物観察会や環境学習事業等、学校での取り組みは着実に進んでいますが、環境啓発活動をより広く市民全体へつなげることが課題となっています。

尾道市としては、平成22年2月22日から3年間、ISO14001認証を取得しました。現在認証は受けていませんが、そのスキルは現在も継続し続けています。

住宅用太陽光発電システム補助事業は平成22年度から平成26年度まで実施し、地球温暖化防止に寄与する事業として一定の役割を果たせました。

また、「おのみちしぐさ」では、親しみやすいイラストと方言を交えて、「たばこマナー編」「自転車マナー編」「ペットマナー編」と作成し、生活環境の改善にかかる啓発を行ってきました。

このほか、市役所の各部署においてそれぞれの業務と関連した事業も行っており、市役所全体として環境保全の取り組みを進めています。



第2節 第2次尾道市環境基本計画

1. 概要

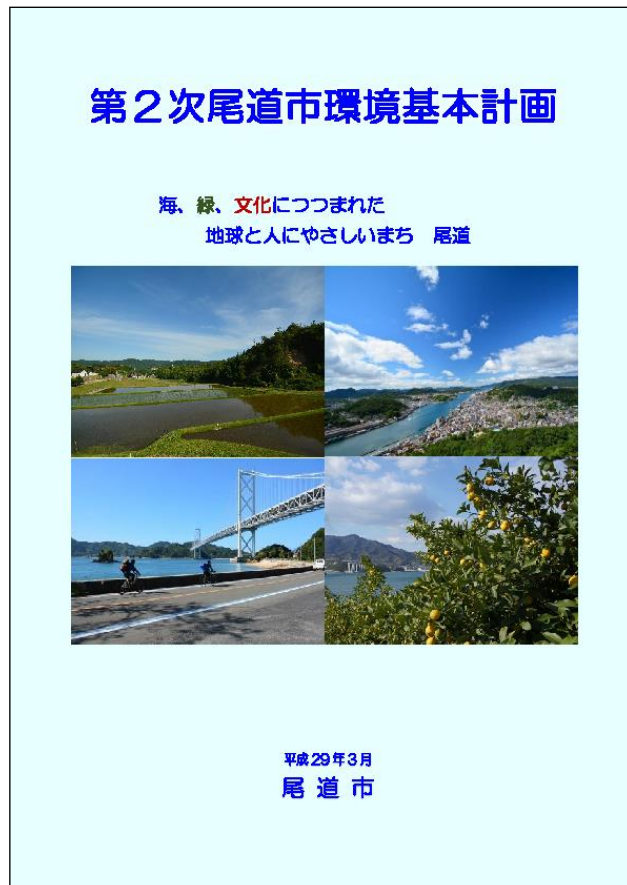
第2次基本計画は、尾道市環境審議会での審議を経て平成29年3月に策定いたしました。

現在の様々な環境にかかるデータや市民や中学生、事業者を対象としたアンケート調査等を踏まえ、第1次基本計画での課題を引き継ぐとともに、第2次基本計画では、5つの基本目標を示し、さらに17項目の成果目標を設定して取組を進めていくこととしています。今後、この成果目標の進捗状況の推移から、本計画の実効性を確認していきます。

また、第2次基本計画の推進には、着実に計画実現の実効性を高めていくため、PDCAサイクルを活用していくこととしています。

このため、外部機関である尾道市環境審議会における審議や研究により必要に応じて計画の見直しなどの意見や提案を受け、庁内では尾道市環境保全対策連絡協議会での関係各部局との連携・調整により計画全体の進行管理を行っていきます。

なお、14, 15 ページに第2次基本計画の成果目標等を一覧にしたものを載せておりますので、あわせてご確認ください。



【資料】第1次尾道市環境基本計画の基本目標及び成果目標の達成度

基本目標	環境づくりの取組	基本的な取り組み	成果目標	計画策定年度 (平成18年度)	中間値 (平成23年度)	中間目標達成率 ・進捗状況 (平成23年度)	最終年度の実績 (平成28年度)	目標進捗率・状況 (平成28年度)
1 安全で健康な暮らしがあるまち (生活環境の保全)	1-1 水質汚濁がなく、海や川がきれいである	河川のBOD値	・平成23年度目標－全ての調査地点での河川のBOD値の改善向上 ・平成28年度目標－環境基準達成の調査地点数の拡大	基準値設定 個所の達成 80%	改善率60%	未達成	基準値設定個所の 達成率100%	達成
		海域のCOD値	・平成23年度目標－全ての調査地点での海域のCOD値の改善向上 ・平成28年度目標－環境基準達成の調査地点数の拡大	基準値設定 個所の達成 100%	達成100%	達成	基準値設定個所の 達成率100%	達成
	1-2 大気汚染がなく、空気がきれいである	光化学オキシダント濃度の値	・平成23年度目標－全ての調査地点での光化学オキシダント濃度の値の改善向上 ・平成28年度目標－環境基準の達成	環境基準 否	環境基準 否 改善向上	達成	環境基準 否	未達成
		二酸化窒素濃度の値	・平成23年度目標－全ての調査地点での二酸化窒素濃度の値の改善向上 ・平成28年度目標－環境基準の達成	環境基準 適	環境基準 適 改善向上	達成	環境基準 適	達成
		浮遊粒子状物質（SPM）濃度の値	・平成23年度目標－全ての調査地点での浮遊粒子状物質濃度の値の改善向上 ・平成28年度目標－環境基準の達成	環境基準 適 基準超過日 無	環境基準 否 基準超過日 3日	達成	環境基準 適 基準超過日 無	達成
		市バスのCNGバス普及率	・平成23年度目標－16.4% ・平成28年度目標－－	3.3%	14.5%	未達成	11.8%	未達成
	1-3 いつでもおいしい水道水が飲める	上水道普及率	・平成23年度目標－94.7% ・平成28年度目標－97%	91.8%	92.8%	未達成	93.4%	未達成
2 水と緑豊かな自然があるまち (自然環境の保全)	2-1 砂浜や自然海岸があり、海と島々の景観が美しい	海の美しさに満足している市民の割合	・平成23年度目標－10% ・平成28年度目標－15%	5.2%	－	－	18.1%	達成
		自然景観の保全に満足している市民の割合	・平成23年度目標－10% ・平成28年度目標－15%	8.3%	－	－	13.5%	未達成
	2-2 森林が保全され、山の自然環境が良好である	山林の保全に満足している市民の割合	・平成23年度目標－15% ・平成28年度目標－増加	12.6%	－	－	15.1%	達成
	2-3 水辺の生き物がすむ水がきれいな自然の川がある	河川の景観の保全に満足していると感じる市民の割合	・平成23年度目標－10% ・平成28年度目標－15%	8.3%	－	－	9.5%	未達成
3 資源を大切にし、環境にやさしいまち (資源の循環利用)	3-1 ごみの排出削減と資源のリサイクルや再利用がされている	ごみの再資源化率	・平成23年度目標－20% ・平成28年度目標－20.5%	19.9%	17.9%	未達成	15.9%	未達成
	3-2 ごみの出し方、分別マナーが守られている	家庭からのごみの分別や出し方のマナーに満足している市民の割合	・平成23年度目標－増加 ・平成28年度目標－増加	12.5%	－	－	17.4%	達成
	3-3 ごみのポイ捨てや不法投棄がない	不法投棄箇所数	・平成23年度目標－不法投棄マップ作成 ・平成28年度目標－マップ上の不法投棄箇所数の5%削減（H23年度比）	－	未作成	未達成	未作成	未達成

基本目標	環境づくりの取組	基本的な取り組み	成果目標	計画策定年度 (平成 18 年度)	中間値 (平成 23 年度)	中間目標達成率 ・進捗状況 (平成 23 年度)	最終年度の実績 (平成 28 年度)	目標進捗率・状況 (平成 28 年度)
4 あるまち（歴史や文化と 調った環境の保全）	4－1 清掃美化が行われ、まちの景観が美しい	通りの広告看板、まちの景観に満足している市民の割合	・平成 23 年度目標 － 9% ・平成 28 年度目標 － 12%	6.1%	－	－	10.4%	未達成
	4－2 歴史や文化が守られ、地域の文化財が継承されている	登録文化財	・平成 23 年度目標 － 30 件 ・平成 28 年度目標 － 目標なし	27 件	29 件	未達成	33 件	達成
		文化財愛護少年団市内小学校加入率	・平成 23 年度目標 － 70% ・平成 28 年度目標 － 目標なし	52%	64%	未達成	65%	未達成
5 みんなで環境を守り、育 てるまち（参加と協働）	5－1 子どもへの環境教育やだれもが参加できる環境学習が行われている	市が主催する環境学習講座の参加者数	・平成 23 年度目標 － 450 人 ・平成 28 年度目標 － 600 人	約 300 人	1,360 人	達成	642 人	達成
		こどもエコクラブ会員登録人数	・平成 23 年度目標 － 20 人 ・平成 28 年度目標 － 30 人	0 人	142 人	達成	399 人	達成
	5－2 市・事業者・市民が協働して環境保全に取り組んでいる	環境推進会議（仮称）	・平成 23 年度目標 － 設置 ・平成 28 年度目標 － 協働の活動実施	－	未設置	未達成	未設置	未達成
	5－3 環境情報の交流が活発に行われている	市の環境ホームページ	・平成 23 年度目標 － 市の環境ホームページの作成と内容充実 ・平成 28 年度目標 － 環境ホームページのアクセス件数の増大	－	作成済	達成	－ （集計機能なし）	－
	5－4 地球環境保全に取り組んでいる	地球環境保全の学習会	・平成 23 年度目標 － 年 1 回開催 ・平成 28 年度目標 － 年 3 回開催	－	1 回	達成	4 回	達成

※意識調査に関わる項目などは、データがないため「－」と表示しています。

【資料】第2次尾道市環境基本計画の基本目標及び成果目標の推移（達成度）

基本目標	環境づくりの取組	基本的な取り組み	No.	成果目標	計画策定年度 （平成27年度）	計画策定年度 （平成28年度）	令和3年度 実績	最終年度の目標 （令和8年度）
1 （生活環境） 安全・安心な暮らしの実現	1-1 澄んだ空気の保全	●自動車の排気ガスの低減 ●公共交通機関の利用促進 ●広域で連携した監視体制と情報提供の充実	1	空気がきれいと感じる市民の割合	—	62.6%	—	70.0%
	1-2 きれいな水の保全	●下水道等の整備と早期接続の啓発 ●生活排水等による河川の環境負荷低減 ●水質調査の継続と情報提供	2	汚水処理人口普及率	43.7%	47.8%	58.2%	73.5%
	1-3 静かで安全な環境の保全 （騒音・振動・悪臭・有害物質対策）	●生活マナーの意識啓発 ●環境騒音調査の継続と情報提供 ●関係機関と連携した対策と各種規制の遵守	3	騒音・振動・悪臭に関する苦情件数	25件	20件	15件	20件
2 （自然環境） 豊かな自然を仲間と楽しむ仕組みづくり	2-1 生物多様性の保全	● 特定外来生物に関する情報提供と啓発 ● ペットの適正な扱いに関する情報発信と啓発 ● 有害鳥獣被害の防止	4	有害鳥獣被害金額	5,239万円	4,444万円	4,565万円	↘
	2-2 身近な自然環境の保全	● 豊かな森林の保全 ● 美しい水辺・海辺の環境保全 ● 自然体験教室などの充実 ● 地域の環境美化、自然環境保全活動の推進	5	海辺の環境保全活動の参加者数	1,750人	1,338人	120人	1,900人
	2-3 里地里山の保全	● 里地里山の活用と保全活動の推進 ● 農業体験の実施 ● 地産地消の推進	6	学校給食における地域産物を使用する割合 （尾道市内産）	12.4%	10.4%	9.1%	15.0%
3 （地球環境） 地球環境を意識した生活の実現	3-1 地球温暖化対策の推進 （低炭素社会の構築）	（1）省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの活用（二酸化炭素の削減） ● 地球環境に配慮したライフスタイルの啓発 ● 省エネルギー化、再生可能エネルギーの活用等 ● 省エネルギー・再生可能エネルギー設備、支援施策等の情報提供 （2）その他温室効果ガスの削減 ● フロン類の適正管理に関する啓発 ● 温室効果ガスに関する情報提供と削減の啓発	7	市の施設の二酸化炭素排出量	47,562t-CO ₂	46,376t-CO ₂	35,710t-CO ₂	↘
	3-2 資源循環型社会の構築	● 4R運動の推進 ● ごみ処理施設での環境学習の推進 ● 野外焼却、ポイ捨て、不法投棄防止の対策	8	市民一人当たりの家庭から出る可燃ごみの量	438g/人・日	426g/人・日	433g/人・日	410g/人・日
			9	資源化率	16.5%	15.9%	13.4%	現状維持

基本目標	環境づくりの取組	基本的な取り組み	No.	成果目標	計画策定年度 (平成27年度)	計画策定年度 (平成28年度)	令和3年度 実績	最終年度の目標 (令和8年度)
4 みんなが住みやすさを感じるまちづくり (快適環境)	4-1 景観の保全と創出	(1) 美しい環境の保全と創出 ● 自然景観、街並み景観の保全 ● 景観と調和したまちづくり ● 空き家、空き地対策	10	自然の景色、街並み景観を美しいと感じる 市民の割合	—	44.7%	—	55.0%
		(2) 公園、緑地の整備・管理 ● 公園、緑地の適正管理 ● 地域の状況に応じた公園、緑地の配置・整備	11	犬に関する苦情相談件数	97 件	107 件	45 件	70 件
	4-2 地域の伝統・文化の継承	(3) 環境美化の推進 ● 日常生活におけるマナー・モラルの啓発	12	登録文化財の数	33 件	33 件	35 件	43 件
	4-3 みんなにやさしいまちづくり	(1) バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進 ● 住宅、歩道等のバリアフリー化の推進 ● 公共施設等へのユニバーサルデザインの推進	13	市営住宅のバリアフリー化戸数割合 (募集中の住宅の手摺り設置割合)	36.0%	36.0%	41.7%	52.0%
		(2) 安全・安心な移動空間の確保 ● 歩行者や自転車の通行環境の整備 ● 交通ルールの周知と徹底	14	身近な道路を安全に通行できると感じる 市民の割合	—	48.0%	—	55.0%
5 尾道の環境を守る人づくり (環境教育・学習及び環境保全活動)	5-1 環境教育・学習の推進	(1) 子どもたちへの環境教育・学習の推進 ● 継続した環境教育・学習の推進 ● 地域と連携した体験学習の充実 ● 食育の推進	15	環境学習の参加者数	340 人	612 人	356 人	620 人
		(2) 地域における環境教育・学習の推進 ● 地域の環境教育・学習の推進 ● 指導者やリーダーの育成	16	市民を対象にした環境学習の参加者数	75 人	400 人	0 人	300 人
	5-2 環境保全活動の推進	● 環境保全活動の推進 ● 地域の環境に関する情報発信の充実	17	地域の美化、緑化活動などの環境活動に 取り組んでいる市民の割合	—	31.0%	—	40.0%

※計画策定年度は、計画策定期間にかかる年度として2カ年度を掲載しております。

※意識調査に関わる項目などは、データがないため「—」と表示しています。